

患者レポートタイトル

評価の訂正 bb1c303d-a975-4bdb-b169-6437c1abbe81

作成者

患者

歯周病のリスク: 4

*より低いリスク

より高いリスク*



リスクによってあなたの将来の病状が予測されます。リスクは、症状と徴候からわかるリスクファクターを総合判断して決められます。病気を予防するには、あなたのリスクファクターを軽減する治療が必要です。普通の歯科治療を受けていると、とても高いリスク(5)の人は低いリスク(2)の人に比べて10倍高い確率で歯を失っています。しかし、リスクを指標に特別な治療を選んで行えば、歯を失う確率は50%から100%減らすことができます。

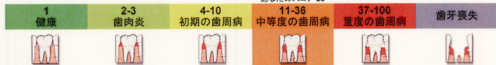
あなたのリスクスコア 4 左のチャートを参照

病状 26

広汎性軽度から中等度歯周炎

あなたの病状は歯周病によって生じた組織の損傷を表します。病状が悪くなると、治療回数も増え、複雑になり、費用が高くなります。病状のスコアが高い人は、歯を失ったり、修復の失敗率が高くなってしまいます。治療で病状によって受けた損傷を改善することができますが、次に起こる病気を防いでくれるわけではありません。病気の予防とは、あなたのリスクファクターを軽減することです。最良の治療は(もし必要ならば)修復と予防の組み合わせで成り立ちます。

あなたのスコア 26



*より健康的

より病的*

何が変わったか 下の情報は、あなたのリスクスコアの進行を示します:



健康な歯ぐきの特徴

診査中やフロッシング中に出血しない

X線の骨欠損なし

縁下歯石なし

縁下マージン修復物なし

あなたの健康度

診査中に出血あり

重度の骨欠損

縁下歯石なし

縁下マージン修復物なし

分析

細菌が炎症の原因であり、病状を悪化させる恐れがあります

骨の支持がなく、歯を支えられません。治療の効果も危ういです

可能な限り最良の所見ですが、ポケットが5mmを超える場合や出血する場合は、違う結果になるかもしれません

可能な限り最良の状態で

糖尿病でないか、良くコントロールされた糖尿病	糖尿病でない	可能な限り最良の状態
分岐部が骨で完全に覆われている	分岐部に骨欠損	この細菌をきれいに掃除することで悪化を予防できるでしょう
最少か、ブラークが認められない	ブラークはない	可能な限り最良の状態
5mmを超えるポケットがない	最も深いポケット 5-7 mm	細菌が歯ブラシやフロスの届かないところにあり、歯科医院の器具が必要で
現在喫煙していない	喫煙していた	可能な限り最良の状態
X線写真により骨レベルは平ら	X線写真により骨レベルは平ら	可能な限り最良の状態

必要な積極的介入

- 一般的に最も効果的 おそらく効果的 あまり効果的でない

<5mmのポケットを軽減する



5mm未満のポケットでは、細菌や歯石をしっかりと取り除くことができます。しかし、どんな深いポケットも最初は5mm未満だったのですから、病気の進行には気をつけなければなりません。適切なポケット深さは3mm以下です。

- 予防メンテナンス
 宿主因子の調節

5-7mmのポケットを軽減する



5 mmから7 mmのポケットは歯ブラシやフロスできれいにできません。専門の歯牙清掃器具もポケットの底に到達できるとは限りません。ブラークと歯石が取り残されるとポケットはますます深くなり歯を失うことにつながります。

- 効果が期待できそうなら、指示された補助的療法と共にSRP
 指示された補助的療法と共にSRPをして無効果または効果が期待できない場合、外科術
- 骨整形術
 - 歯肉フラップ術
 - 再生療法(特別な状況の場合)
- 抜歯(特別な状況の場合)
- SRPや外科処置をしないで、予防処置またはメンテナンス
- 薬剤のみ(特別な状況の場合)
- 抗生剤の局所応用のみ
 - 全身的抗生剤投与
 - 宿主因子の調節

分岐部



分岐部とは根を複数持つ歯(臼歯)の歯根の分かれ目のことをいいます。"分岐部病変"とはこの分かれ目を覆っているはずの骨がなくなっている状態です。深いポケットよりも清掃が難しく、細菌や歯石を完全に取り除くことができません。分岐部病変は一般的に悪化しやすく歯を失うことになりま

- SRPと指示された補助的療法が無効果の場合、外科術
- 再生療法
 - 根切除術
 - 骨整形術
- 抜歯
- SRPと指示された補助的療法が無効果の場合、外科術
- 歯肉フラップ術
- SRPと指示された補助的療法
- 抗生剤の局所応用のみ

予防とメンテナンス

かかりつけ歯科医への定期来院

症状は警告サインですが、現れるのが遅すぎて病気が単純で治療も簡単で安く行える時期を逃してしまうことがよくあります。早期発見のため定期的に来院することによって、複雑で高価な治療を



防げます。より良い方法は、定期的来院であなたのリスクファクターにターゲットを絞った予防ケアを受けることです

- 3ヶ月ごと
- 4ヶ月ごと
- 2ヶ月ごと